

# 初がたい

東成瀬村 昔っこの会



厳冬に  
安らぎ漂う

1/14 初がたり 東成瀬村農村交流センター

## 年頭にあたって

### ―必ず起きる

### 天災地変への備えを―

大震災の惨禍を振り返れば、「明けましておめでとうございませぬ」の言葉を発するのに一呼吸おいてしまいます。そうした複雑な思いをもちながら「今年こそよい年でありますように」と、年賀状を書かれたみなさんも多かつたのではないのでしょうか。

ところで、大地は今も移動していて、日本列島はまさに世界有数の地震の国。岩手・宮城内陸地震のすぐ後にまたもあれほどにすさまじい揺れがすぐそばで起きた時、「天変地異は必定の国」に暮らしていることを強く思い知らされました。

「必ず」という断定的表現はあまり多く使う言葉ではありません。しかし、大地震と津波、それに豪雪、豪雨は「いつか必ず発生する」島と地域に暮らしているのですから、ほんとうはこの国に住んでいて「何もない平安な年であるように」という挨拶は現実ばなれした言葉なのかもしれません。

天災地変はいつになるかはわかりませんが必ず巡り来る。それへの備えをしつかりとためておいて、区切りとなる新しい年明けをおめでたく迎え、過ごしたいものです。

さて、議会にとつても昨年はその活動に大きな集中力を必要とする年でした。

まず、任期までにやりとげなければならぬ懸案の課題をまとめ、ご承知のように3月議会において村政遂行上の重要問題点について村にその改善策を求めました。

また、新総合発展計画に対する議員同士の自由な議論をごく一端ではありましたが交わし合い、その記録を「基本構想・計画づくりの参考に」と村に届けました。

4月の改選後には、災害発生に機敏に対応するためなどの目的で災害対策特別委員会を設置し被災地大船渡市でボランティア活動等にとりくみ、さらに議会改革特別委員会も設置し、住民の代議機関としての役割を一層強めるために協議を進める手はずをとりました。

私たち議員は、一人一人の手に「議員必携」という活動の手引き書を持っています。それには、以下のような記述があります。

「憲法第十五条で、『公務員は全体の奉仕者であつて一部の奉仕者ではない』と定められているように、議員は住民全体の代表者であり、奉仕者であつて、これが議員の本質というべきである。」  
この職責を片時も忘れず、機能を發揮し、望まれる議会活動に努力することをお誓いし、皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

議長 白田義行

あけましておめでとうございます。



# 12月 定例会

12月定例会は20日から22日までの3日間の会期で開かれました。村長から提出された13件の議案をはじめ、議員発議による意見書案など7件、これら、すべての議案は全会一致で原案同意・可決された。

## 行政代執行が可能に

### 東成瀬村空き家等の適正管理に関する条例を制定

空き家等の適正管理を図ることにより、倒壊等の事故、犯罪、火災等を未然に防止し、村民と地域の安全・安心の確保と生活環境の保全を図ることを目的とした「東成瀬村空き家等の適正管理に関する条例」を制定した。

内容は、村民から、空き家が危険な状態であるとの情報を受けた場合、村が実態・立入調査を行い、所有者に対し、必要な措置について助言又は期限を定めて勧告し、必要に応じて支援を行うこともできる。また、勧告に従わず放置され、公益に反すると認められた場合は行政代執行法により代執行を行うことを可能としている。

施行は平成24年1月1日から。

## 給料表を改定し、給料月額を引き下げ

### 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

秋田県人事委員会の勧告内容を受け、一般職・医療職・単純労務職の各給料表を改定し、給料月額を引き下げするもの。

平均改定率はマイナス0・2パーセントで、これにより23年度の人件費は8万6千8百23円の減額となった。



# 安全・安心 決意新たに

1 / 4 東成瀬村消防団 出初式

## 人権擁護委員の推薦に同意

24年3月末で任期満了となる人権擁護委員について、再任として推薦することに満場一致で同意した。



高橋みちこ氏  
60歳  
椿川字下段13-3  
【再任】

## 「シャイントピアみなせ」を譲渡

### 湯沢雄勝広域市町村圏組合規約変更

湯沢雄勝広域市町村圏組合が設置する特別養護老人ホーム「シャイントピアみなせ」を社会福祉法人みなせ福祉会に譲渡することに伴い、組合が共同処理する事務や規約の一部を変更した。  
地方自治法により関係する市町村議会の議決が必要となっている。

12月定例会議決事項名	
人権擁護委員推薦につき議会の意見を求めることについて (5ページに関連記事掲載)	
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 (4ページに関連記事掲載)	
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更 (5ページに関連記事掲載)	
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更に伴う財産処分 (5ページに関連記事掲載)	
東成瀬村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 (道路法施行令の改正に伴う改正)	
東成瀬村空き家等の適正管理に関する条例 (4ページに関連記事掲載)	
平成23年度東成瀬村一般会計補正予算(第7号) (6ページに関連記事掲載)	
平成23年度東成瀬村国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) (歳出予算の組み替え)	
平成23年度東成瀬村国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第4号) (歳出予算の組み替え)	
平成23年度東成瀬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) (1万7千円追加)	
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号) (41万1千円追加)	
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第2号) (926万9千円追加)	
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)への繰入	

## 請願・陳情

12月定例会には7件の陳情が提出され、それぞれの常任委員会に付託し、審査の結果、6件を採択すべきものとし、1件を趣旨採択すべきものとした。要請に基づき、6件について意見書を提出することに決定した。

○大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情  
(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也

○無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3万3千円の支給を求める陳情  
(陳情者) 全日本年金者組合秋田県本部湯沢雄勝支部 支部長 鈴木 甚郎

○「社会保障と税の一体改革」の中止を求める陳情  
(陳情者) 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺淳

○年金受給資格期間を10年に短縮することを求める陳情  
(陳情者) 全日本年金者組合秋田県本部湯沢雄勝支部 支部長 鈴木 甚郎

○「社会保障と税の一体改革」による消費税増税は行わないこと」を国に求める陳情  
(陳情者) 秋田県商工団体連合会 会長 小玉正憲

○「介護職員待遇改善交付金の継続」の意見書採択を求める陳情  
(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也

○原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国に求める陳情  
(陳情者) 秋田県労働組合連合会 議長 佐々木 章

### 趣旨採択

○「介護職員待遇改善交付金の継続」の意見書採択を  
(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也

○「原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国に求める陳情」  
(陳情者) 秋田県労働組合連合会 議長 佐々木 章

介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)操出金に927万円など

可決

# 1,866万2千円追加の 一般会計補正予算を可決

# 予算

## 補正予算審議の 主な質疑

**答弁** 周辺外構工事が未発注で除雪対策として砂利を敷くことと冬囲い業務の委託(関連)

制を整備する。

**質問** 観光費における修繕や広告経費の一部を第三セクターが負担する考えはないか。

**答弁** 村有備品の修繕と広告料はスキー大会番組制作費が主なもので元気な村を発信する経費となっている。

**質問** 公有林整備管理事業の大幅な減の内容は。

**答弁** 立木のまま売る内容変更による減。

**質問** 五里台ポンプ小屋解体経費の減は何故か。

**答弁** 防災無線の拡声機があり移設経費の増額などで見送った。

**質問** ミニライスセンター冬期維持対策業務委託料の内容は。

**答弁** 高齢者等へ後方支援として貸し出す除雪機整備で1台は谷地天江部落、もう1台は社会福祉協議会の管理を予定しており責任体

**質問** 地域支え合い体制づくり事業で購入する除雪機の管理体制と事故などの責任の所在について。

**質問** 冬期交通対策費の(除雪)委託料から負担金へ置き換えた理由。

**答弁** 労働者派遣法に触れる誤解の恐れがあるので委託契約から出向契約で給与負担金を会社へ支払う形にした。



各集落から除雪機の要望は多い

23年度一般会計補正予算の主なもの	
歳入	
○分担金及び負担金	
老人施設入所者負担金増	57万円
○県支出金	
権限委譲推進交付金増	25万円
森林環境保全整備事業費補助金増	78万円
電源立地地域対策交付金	440万円
地域支え合い体制づくり事業費補助金増	396万円
政策転換対応型農業支援事業補助金減	▲88万円
森林整備地域活動支援交付金増	96万円
広葉樹資源活用フロンティア事業補助金	90万円
県単農業生産施設等復旧対策事業補助金増	102万円
○財産収入	
官行造林売払収入増	441万円
○諸収入	
保育園職員給食費	79万円
歳出	
○総務費	
財産管理費 修繕料追加	152万円
財産管理費 通信運搬費減	▲170万円
公有林整備管理委託料減	▲728万円
官行造林売払収入部落還付金	132万円
情報化対策費 修繕料追加	131万円
○民生費	
地域支え合い体制づくり事業費補助金追加	396万円
介護保険特会(介護サービス事業)操出金追加	927万円
○衛生費	
インフルエンザ予防接種委託料追加	65万円
○農林水産業費	
ミニライスセンター冬期維持対策業務委託料	100万円
政策転換対応型農業支援事業補助金減	▲88万円
森林整備地域活動支援交付金追加	128万円
広葉樹資源活用フロンティア事業補助金	90万円
○商工費	
観光費 広告料追加	192万円



## 空き家対策について

**質問** 現在把握している空き家の数を伺う。

**村長** 調査した結果では村内に65戸と把握している。

**質問** 空き家について、どのような対策・調査が進められたか。その結果として条例策定に至ったか。

**村長** 1月(昨年)からの豪雪によって危険な状態にしておくことがあり、雪下ろしをするよう勧告したり、親戚等を通じて連絡して建設業協会に委託して除雪をし、中にはどうしても連絡がつかない家には、やむを得ず負担せざるを得ないのが現状であり、今後法的手段に訴えてでも対策をとる必要が出てくるので、今回条例化させていただく。  
**質問** 利用可能又は手を加えれば利用できる家屋の移住希

望者への活用について伺う。

**村長** 合併浄化槽もつけ、利用可能な家を確保して移住対策として検討していきたい。

## 村の誘客対策について

**質問** 村のホームページには更新されていないものもあり、子エック機能を働かせて魅力的なものにできないか。

**村長** 見る側に立ったホームページの姿勢が求められている。指導して役立つホームページにしていきたい。

**質問** まるごと自然館、成瀬川交流館について、「とうほく街道会議」が開催されたことや「日本で最も美しい村」連合などの観点から、観光面からの位置づけを明確にしての誘客対策を伺う。

**村長** まるごと自然館については一定の評価を得ており、仙北道の踏査、村の歴史や文

化を知る意味から今後の内容の充実について積極的に関わっていききたい。成瀬川交流館については、観光・誘客の施設となり得るよう、倉庫的なものでなく意味のある展示内容、利用できる施設として具体的に検討していきたい。

**質問** 休養・使用不能状態にある公共施設について

**質問** 休養センター、大柳沼キャンプ場、天正の滝などの施設のトイレが使用不能状態になっている。今後どのようにする予定か。

**村長** 休養センターについては、源泉の湯揚管が地殻変動で変形し湯量の減少や建物が非常に傷んでいる。ボーリングによって新たな源泉を確保した際に総合的に判断して検討しなければならぬ。

**質問** 大柳沼キャンプ場と天正の滝は水の確保が非常に厳しく、簡易トイレや沢水の利用など新年度等に含めて検討していきたい。

**質問** 防災上の観点からの道路整備について

**質問** 災害時の孤立化防止、救助活動に大型車が進入しやすい道路整備について伺う。

**村長** 緊急を要するところから少しずつ改良していく必要がある。財源等の関係を含めて検討していく。

佐々木 正利 議員

## 空き家対策、条例制定の経緯は

村長 今後法的な対策をとる必要が出てくる

**質問** 今年度末で終了予定のふるさと雇用再生臨時対策基金事業の来年度以降について伺う。

**村長** 継続して村単でもやらなければならぬものもある。予算審議等で提案し、独自対策も検討していく。

**質問** 放射能測定について

**質問** 村内3地点での放射能測定結果と公表形式について伺う。

**村長** 基準値を上回る数値が測定されなかった結果、公表していない。公表の仕方について具体的に検討していく。(文責は質問議員)

**質問** 行革で約十年近く採用せず人件費抑制を行ったが今後は採用人員について数値を示して募集要項に明記してい

**質問** 公務員試験を受験する村内者が少ないようだが、今後どのようにして人材を確保していくか伺う。

**村長** 行革で約十年近く採用せず人件費抑制を行ったが今後は採用人員について数値を示して募集要項に明記してい



空き家対策に本腰



佐々木 健 夫 議員

職員倫理規定制定は怎么样了なっているか

村長 二十四年一月一日付で方針を定めたい

**質問** 昨年の職員不祥事に伴う議会調査特別委員会で職員倫理規定を早急に整備すべきと指摘した。村長は具体的に検討すると答弁しているが、どのようになっているか。

**村長** 倫理規定、綱紀粛正については、課長会議や副村長を中心とした班長会議で徹底するように指示している。

倫理観を再確認する意味で、二十四年一月一日付で職員倫理に関する方針を定めることにしている。

**質問** 不祥事から一年が過ぎた。ことが事だけに今年の四月から早急に対応すべきではなかったか。

**村長** 制定が遅れたと指摘をいただいたが、制定してこれを守るように改めて厳しく対応していきたい。

村長自身一層職員の模範となる対応をしていると思うが

**質問** 不祥事は、村内、村外業者或いは事業費、事業量に關係なく発生する。関係業者との接触に当たっては国でも禁止事項を厳しく示している。金銭授受だけではなく、日常の家族を含めた付き合いも疑惑、不信を招くような行為は慎むことを厳しく明示している。不祥事発生来、村長自身職員に対して倫理について模範となるような対応をしているか。

**村長** 倫理規定があるなしに関わらず、職員には口を酸っぱくして言っている。法に則った職員として守る守らないは個人の自覚であり、個人がしっかりと倫理観を持って公務員として仕事に当たるように指示している。

**質問** 総合発展計画の将来像は

総合発展計画の将来像は

**質問** 総合発展計画は、村の最上位の計画であり、一言でいえば将来どのような村にするのか目標がしっかり見える計画が必要と思うが如何か。

**村長** 膨大な総合発展計画が目指す将来像を一言でいうのは難しい。成案を得るまでにキャッチフレーズのものを考えてみたいが、「人と環境に優しい協働の村づくり」を一つの方向に肉付けしていきたい。後になってなるほどと思われるような計画に心がけたい。

**質問** 農業、観光の具体的な振興策は

**質問** 計画の中で、村の農業、観光振興の具体的な指標をどのように考えているか。

**村長** 農業や観光入り込み客についても、具体的な数字を示して目標を立てることはなかなか難しいが、年度間で方向を示せるものは示していきたいと考えている。

議会の提言が参考になったか

**質問** この発展計画に対して、村長に議会の提言書を提示したが、参考になった部分があったか。

**村長** 提言では、議員の熱意が伝わってきた。特に産業振興や観光に対する意見が多く、この発展計画にも反映させていきたい。

放射線がれき処理村民の意向・同意を得るか

**質問** がれき処理が山谷（八面）処理場になった場合は、直線では数キロしかなく放射線に対して村民が心配すると思うので、村民の意向、合意などを得る考えがあるか。



倫理観は村長年頭訓辞でも

**村長** がれきの処理は、湯沢雄勝広域圏組合の対応となり、住民説明会は村が突出してやるというよりも、今後三市町村で慎重に検討して対応していかなければならないと考えている。

（文責は質問議員）

- その他の質問事項
- ・ 空き家対策について
- ・ 秋田県協働プログラム事業について



# 一般質問



湯沢雄勝地域定住自立圏共生ビジョンの取り組みや成果について

**質問** 湯沢市・羽後町・当村の各議会の議決を経て、平成二十三年一月十七日に三市町村長が「湯沢雄勝地域定住自立圏形成協定」に調印した。協定締結から間もなく一年が経とうとしているが、成果が見えないというのが実感だ。

一点目として共生ビジョンの中に「地域医療ネットワーク構築事業」が計画されているがどのような対策が講じられたか。

**村長** 対策として協議されず、各市町村の独自事業を行うこととしてそれぞれが取り組んでいる。村としては、任意幼児医療費助成事業等を中心に取り組んでいる。

**質問** 二点目として、「文化・スポーツ施設相互利用推進事

業」がある。これは「圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏

域内の文化・スポーツの振興や施設の利用の促進、圏域住民の相互交流を図る」とされているが、湯沢市内のスポーツ施設の利用を当村のスポーツ少年団が申し込んだところ、湯沢市内の団体が優先されて夜の時間帯に割り当てられたという話を聞いた。小学生なので、夜の時間帯は外すくらの配慮があっても良く利用に関する取り決めなどがあって然るべきではないか。

**村長** なかなか思うような時間帯に割り当てられなかったということについては私も承知しているが、事務段階でよく詰めていただくように申し入れをしていきたいと考えている。

**質問** 三点目として、「空き

## —湯沢雄勝地域定住自立圏共生ビジョン—

町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「周辺市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確認し、地方圏への人口定住を促進する定住自立圏構想が平成21年4月から全国各地で行われている。

湯沢雄勝地域においても平成23年湯沢市を中心市として協定を結び、定住自立圏が発足。その目指す将来像や実現に向けた具体的な取り組みを示したもの。

家・空き地情報バンクの構築」という事業があるが、圏域の空き家・空き地情報バンクはどれくらいできているか。

また、「共生ビジョン」に對しどのような評価をしているか。

**村長** 「空き家・空き地情報バンク」については、村では調査しており一定のデータも出てきつつある。湯沢市は条例等も検討しており、お互

いの情報を共有出来ないか、事務段階で協議を進めていき、連携をとっていくことも考えられる。当然、羽後町についても同様に進めていく。

共生ビジョンについては、初年度ということもあり具体的な取り組みが希薄なようにも感じられるので、所管課等を通じ計画推進を働きかけていく。

(文責は質問議員)

佐々木 正 夫 議員

## 自立圏共生ビジョンに対する評価は

村長 具体的な取り組みが希薄、所管課等を通じ計画推進を働きかけていく



12月定例会 一般質問は2日目(21日)に行われました



## 教育長

### 立派な成績

#### 全国学力学習状況調査

- ▼9月27日に全国学力学習状況調査が行われた。震災により大幅に遅れて実施。これまで同様の立派な成績となっている。
- ▼10月16日に本村児童生徒による「ふるさとの歌～悠久の風にのせて～」の発表会が行われた。末永く歌い継いでいくようにしたい。
- ▼11月11日、村教委、中学校及び県剣道連盟の主催で「生き方講座・剣道達人教室」を実施。
- ▼教育視察は国内外・県内外含め合計103名。大学教授、議員、報道関係者など多様。日本で最も美しい村連合の理事も訪問。
- ▼9月17日・18日に第16回パークゴ

- ▼9月17日・18日に第16回パークゴルフ東北大会を開催。280名の参加。交流会の料理、パークゴルフ場の整備状況が好評。
- ▼村の狩猟文化映像記録保存事業としてツキノワグマ巻狩り手法の映像を村猟友会の協力を得て最終映像を収録、DVD作成も最終段階に入る。
- ▼方言収集活用事業の収録は、10名の協力者を得て年明けより本格的な聞き取り調査を進めていく。2月に東成瀬の方言「さあ・シャペローゼ大会」を開催予定。
- ▼来年（平24）2月19日に第3回オーブジャンプ小学生N.O.1決定戦東北地区予選大会へ参加予定。宮城県多賀城市で開催予定。

## 村長

### 異常な数値なし

#### 放射能測定結果



- ▼新総合発展計画は大字単位による住民座談会を開催し説明を行う予定。
- ▼年明けから観光振興分野で県と機能合体組織を発足。主に誘客対策。
- ▼11月6日に首都圏なるせ会総会が盛大に開催された。ふるさと讃歌をDVDで披露。
- ▼11月28日のぞみの会主催で「東成瀬村いのちを考える集い」がゆるゆるで開催された。今後も活動を推進する。
- ▼12月11日「交通安全住民のつどい」をゆるゆるで開催。
- ▼12月21日、各集落の集会所へ発電機を配備。防災備品も可能の限り速く整備していく。
- ▼放射能測定の結果、異常な数値はなく安全。
- ▼農産物の放射性物質調査を村単独で実施。検出されたものはない。
- ▼10月29日・30日に産業祭を実施。農林産物はここ5年間で最高の出品となった。
- ▼米の所得補償2千5百83万円、水田活用の所得補償1千777万を交付。
- ▼カントリーパークは東北交流大会などで過去最高を記録。1万1千9百85人。
- ▼10月20日に成瀬ダム建設事業に係る検討会が東北地方整備局主催で開催された。

# 行政報告要旨



10/16 ふるさとの歌～悠久の風にのせて～発表会

## 国政に生の声を届けました

11月7日、村当局と合同で中央要望会を実施。秋田県選出等国会議員を訪問し、成瀬ダム本体工事の早期着工など村の活性化施策の説明や要望を行いました。



県選出国会議員に要望書を手渡しました（国会議事堂内応接室）

## 議員発議で政府に意見書を提出

—12月定例会において意見書案を提出し可決—

### 環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加撤回を求める意見書

政府は、先に開かれたAPEC首脳会議において、環太平洋経済連携協定(TPP)交渉への参加を表明しました。

この参加表明は、農林業を産業振興の基幹に据えているわが村にとって断じて許すことの出来ないものであり、当村議会は、すでに政府に対して提出していた意見書に引き続き、参加表明に対してあらためて強く抗議の意思を示すものです。

交渉参加表明は、TPPに反対・慎重対応を求める全国の8割を超える地方議会の声や世論に背を向け、国会の議論にもまともに向き合う姿勢を見せない中で事が進められたもので、この間、政府のとってきた一連の姿勢は民主主義を踏みこむ暴挙であり、我々は参加方針の撤回を強く求めるものです。

多くの国や国際機関による人類社会の将来予測は、人口増加を要因とする世界規模の食糧危機を指摘しており、国際的にも、内政の上でも、それぞれの国家による食糧自給率の安定的確保は人類共通の責務となっています。

ところがTPPは、喫緊の課題として世界が真に目指さなければならぬ自給率向上策の阻害になるだけでなく、食の安全保障の視点からも大きな危険を孕むものです。

TPPが締結されると、海外の安い農産物が大量に流入することどまらず、食の安全規制の緩和、混合診療の全面解禁による公的医療制度の崩壊、関税自主権の剥奪が想定され、建設業をはじめとする公共事業への外国企業の新たな参入なども例外でなくなり、村の産業基盤に重大な影響を与えることも強く懸念されます。

このようにTPPは、国と地方経済、国民のくらし全体に大きな負の影響を及ぼすものであり、当村議会はこれへの交渉参加に断固反対することを強く政府に求めます。

一、環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加を撤回すること。

# 秋の見聞!

## 常任委員会合同 村内施設訪問・工事状況視察

12月2日、常任委員会合同で村内施設訪問と村が発注した工事状況を視察しました。

施設訪問は、小・中学校、なるせつ子夢センターと幸寿苑で運営状況や要望など聞きました。

また、部落から要望された箇所を中心に工事状況を視察し、役場の担当者から概要などの説明を受けました。

これらの視察内容は12月定例会で両委員長が意見を加え報告しました。



図書の管理が目を引きました(小学校)



村道改良工事(平良地区)



計画の素案説明が行われました

**新総合発展計画の素案示される  
第17回全員協議会**

12月13日、議員全員協議会が開催され、12月定例会に上程する議案説明に続き、今後の簡易水道施設整備計画と新総合発展計画の素案が示されました。特に新総合発展計画は今年度から32年度までの10年間の計画で村が発展するための振興策などを盛り込んだ柱となる最も重要な計画です。この計画に関しては説明を行う地区座談会が予定されています。

### 主な質疑(抜粋)

**質問** 今回の計画は特別な組織で検討したのか。

**答弁** 副村長をトップに課長会議・班長会議で調整を取った。

**質問** 計画説明の地区座談会はいつ頃か、大字単位か。

**答弁** 1月中頃過ぎを予定しており、田子内・岩井川・椿川・大柳の4地区を予定している。

**質問** 人口減少への対応でなく、若者定住など人口を増やす計画が必要では。

**答弁** 全国的に大きな課題であり、次回のまちづくり検討委員会まで各課にソフト面の対策をプランニングさせたい。

**質問** 成瀬ダムに関する文言がないが。

**答弁** 商工業の強化の中で触れているが、話を詰めたい。

**質問** 森林整備計画で民有林をどうするか検討してほしい。

**答弁** 全体の計画の中で行うことになる。担当課と調整する。

## 成瀬ダムの行方は

行政懇談会

11月17日、国土交通省湯沢河川国道事務所から所長をはじめ9名の職員をお招きして、行政懇談会が開催されました。

今回の研修テーマは、昨年に引き続き「成瀬ダム事業」で、現在、検証ダムとなっている「成瀬ダム」が、今後どのようなスケジュールで検証され、事業継続の可否の最終的な判断はいつ頃になるのかといったことを中心に説明を受け、意見交換を行いました。



担当課長から説明を受けました

## 東成瀬村の教育を訪ねて

岩手県九戸村議会が視察

11月28日に岩手県九戸村議会総務教育常任委員会と教育次長など9名の皆さんが、本村教育行政の現状や学校統合といった沿革などについて行政調査視察に訪れました。

教育長、小中学校長による状況説明の後、九戸村が直面している課題と本村の状況を照らし合わせ、熱心な意見交換が行われ、予定時間を超過して終了しました。



プロジェクターで村の教育を説明

## 故郷の声を届けました

首都圏なるせ会総会

11月6日、東京で首都圏なるせ会の定期総会が開催され、今年には総務教育民生常任委員会の各委員が出席し、故郷の状況を説明し懇親を深めました。

### 第23回 首都圏なるせ会総会



## 東成瀬Aチーム優勝!

郡市議会議員交流会

11月9日、湯沢市雄勝郡市町村議会議員の親睦、連絡協調や健康増進を目的とした交流会が羽後町介護予防拠点施設で開催されました。スタートラインからスティックでボールを打ち得点穴に入れる「スカットボール」の競技大会が行われ、当議会からAとBの2チームが参加し、Aチームが見事優勝しました。昨年の交流会でも優勝しており2連覇となりました。





気さくでやさしそうな素敵な先生でした

# この人に聞きたい

## かほ Kahō 突撃

いんたびゅう

今回は、昨年4月から診療所の所長として着任された小西先生にインタビューしてみました。

かほ ズバリ！独身ですか。

小西 違いますっ！（笑）

かほ ですよねえ、ご家族は。

小西 妻一人（笑）、娘三人です。

かほ 妻一人ですね（笑）休日は何されてますか、趣味など。

小西 家で本読んでることが多いかなあ、本当は子供たちを連れて出かけるのがいいと思いますけど、アウトドア派ではないので・・・

趣味は自転車です。ここにも自転車を通うかなとも思いましたが、車が多いところもあり危険なので諦めました。休み時間は「エアロバイク」こいでますよ（笑）

かほ 前はどこに勤務されましたか。

小西 太田国保診療所（大仙市の所長をしておりました）。

かほ 医者を目指したきっかけは。

小西 親は同じ「いりょう」でも服の「衣料」の商売やっ

てましたが、これではやって行けないので医者になってほしいと（大笑）あと、小学生の頃にケガをみてくれた先生が良かったので、よし！医者になろう・・・と（笑）

かほ 東成瀬村の印象、雪とか。

小西 そうですねえ、雪は多いです。でも夏は山あり、川あり、温泉も、自然が多くて仕事に来ててもリラックスできます。

かほ 東成瀬村の保健行政にひとこと。

小西 検診の受診率も高く、その結果で内視鏡検査を行い早期発見につながっています。住民の皆さんの意識もそうですが、受診を促す組織体制など充実しており、素晴らしいと思います。

かほ 最後に、好きな言葉を。

小西 ん、為せば成る・・・ですかねえ。

かほ 先生にピッタリの言葉ですね。今日は、お忙しい中、大変ありがとうございました。

## 暫時休憩

さんじ きゆうけい

▼新しい年を迎え、今年こそは良い年で有りますようにと願う。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災、被災された人々の心情を思う時、心の底から願わずにはいられない。

▼いよいよ厳冬の時季、なんとか元気で乗り切ってもらいたい。冬の訪れが、いつもより遅く、さて今年は何年かと思ったら年末にかけての大雪。昨年の二の舞なのか？

▼地球温暖化と言われると、勝手に雪が少ないと解釈をする。大雨、大雪はその原因で有るとも言われ、改めて自分なりの考えを変えなければならぬ。

▼年末、政界は大きく揺れた。消費税増税論議で有る、賛否両論が有るのは言うまでも無いが、もっと国民に目を向け、説明責任を果たした政策を期待したい。

▼今冬も大雪にならない事を祈りながら春を待ちたい。  
改めて良い年で有ります様に！

（委員・佐々木謙吉）

東成瀬村  
議会だより

平成24年1月20日発行

No. 165

■発行 東成瀬村議会  
■編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会  
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
TEL 0182(47)3411 FAX 0182(47)3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp  
印刷/株式会社増田印刷所